



《Q》 どうする？「ワンオペ介護」対策

《A》 見守り、相談支援対策の充実強化を図る

大塚 あかね 議員（民進党）



平成 29 年 10 月にオープンした羽村市地域包括支援センターあゆみ

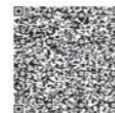
在宅医療・介護連携推進事業と「ワンオペ介護」対策について
今回で3回目の質問となる。来月4月までに、自治体が主体となり「在宅医療・介護連携」の取組みを行うことが国から示されている。市の現状はどうか。在宅医療・介護が進むことにより「ワンオペ介護」に陥ることも危惧される。介護する人への支援策の充実・強化も必要ではないか。
質問 東京都が公表している資料には羽村市は「地域の医療・介護資源のマップ・リスト」を市民に「情報提供した」と回答している。どういう形で行ったのか。

市長 個別に行った。リスト・マップは今年度中に作成し、情報提供する。
質問 「急変時医療機関の確保」について検討はどこまで進んでいるのか。
市長 引き続き市内医師会に対し、働きかけを行っていく。
質問 介護する家族が「ワンオペ介護」に陥らないための支援策の充実・強化が必要ではないか。
市長 介護サービスの充実により家族の負担は軽減されていると捉えている。今後も介護保険サービスの利用促進や、見守り体制の充実、相談支援体制の強化を図っていく。

地域資源を活かした観光施策の展開を

質問 市内にあるパワースポットを周知・広報しては。
市長 観光資源として活用する方策を検討していきたい。

※ワンオペ介護…介護を一人で全て行うこと。



《Q》 郷土博物館周辺地域の安全対策は

《A》 あきる野市と連携を図り安全確保に努める

石居 尚郎 議員（公明党）



土砂災害における今後の安全対策について

質問 あきる野市道548号線から山の急斜面に沿う住宅地を経て郷土博物館に至る地域の安全対策は。
市長 あきる野市との情報共有や調整等は、必要不可欠である。清流地区の市民の安全を確保するためにも、情報をできるだけ把握し、地区内の安全対策について、積極的に連携を図っていく。

質問 ハザードマップの改定の時期と改定内容は。
市長 防災マップと併せて今年度末までに、より充実した見やすいものとして修正版の発行を予定。多摩川洪水浸水想定区域等の改正内容や水防法、災害対策基本法などの関係法令やガイドラインに基づく記載事項を反映する。

羽村市動物公園とシティプロモーション
質問 動物公園を活用したシティプロモーションを。
市長 平成30年度は、開園40周年を迎え、記念式典なども予定している。シティプロモーションの視点を取り入れて実施していく。



平成 29 年 10 月の土砂災害

質問 開園40周年を契機に、さらに親しまれる動物園については、獣舎の改修と同様、順次、計画を立てて、改修を進めていく。将来にわたる多くの皆様に愛され、親しまれる公園として、さらに充実を図っていただけるよう、長期的な計画を立てて取り組んでいく。



《Q》 多言語対応型音声翻訳タブレットの設置を

《A》 通訳不在時の補助的な活用について検討

中嶋 勝 議員（公明党）

外国人市民への言語対応について

質問 外国人市民数と国籍別上位5か国は。
市長 10月1日現在で、ペルー、フィリピン、中国、韓国、ブラジルの順で、1295人である。
質問 日本語が理解できない時の対応は。
市長 通訳として国際交流コーディネーターを配置。

質問 通訳の不在時もあるため体制の充実を。
市長 外国籍市民支援員登録制度を構築する。
質問 音声翻訳用タブレットを窓口を設置しては。
市長 通訳の不在時に補助的な活用として検討する。

マイナンバーカードで利便性向上を

質問 サービスについて受けられるサービスについて
市長 住民票等コンビニでの交付が可能になったが。
市長 多くの方に利用いただけるよう周知に努める。
質問 保育や児童手当、母子保健等に関する手続きが、



■その他の質問「介護・福祉人材の確保へ」



窓口で外国人市民に対応する国際交流コーディネーター

《Q》 集中豪雨で駐輪場から流れてきた自転車の対応は

《A》 ロープで固定するなど対策を練る

西川 美佐保 議員（公明党）



集中豪雨などへの水害対策の強化を

質問 昨年8月に発生した台風9号の市内水害状況は。
市長 道路冠水8件、床上浸水10件、床下浸水10件、地階への雨水流入4件、自動車水没4件等である。
質問 市内全域の浸水データは蓄積されているか。
市長 今後できる限りのデータ収集に努める。

羽村駅東口周辺の水害について
質問 この地域は以前から水害が発生しているが、原因と対策は。
市長 鉄道の軌道と地盤の高い道路に囲まれ、浸水被害が発生する。市ではこれまで雨水管の布設や、雨水浸透

川の流れさえも変えられる止水シート
質問 この地域は以前から水害が発生しているが、原因と対策は。
市長 鉄道の軌道と地盤の高い道路に囲まれ、浸水被害が発生する。市ではこれまで雨水管の布設や、雨水浸透



川の流れさえも変えられる止水シート

施設を設置などを行ってきた。今後、雨水管の整備など有効な対策を検討する。
質問 この地域は、市役所通りから多くの水が浸入。被害のあった道路に土嚢や止水シートを設置しては。
市長 豪雨の際には通行止めを行い、土嚢の設置や止水シートの設置について、対策の一環として想定し、対応を図る。
認知症に優しいまち
質問 認知症カフェを実施するお店などの入口にマークを表示してはどうか。
市長 ステッカーやのぼり旗などを検討する。
質問 認知症カフェとセツトで可能なところは、敷地内にベンチの設置の推進を。
市長 ベンチの設置も適宜カフェ運営側と協議する。

■その他の質問「結婚新生活支援事業の実施について」





《Q》「2月までに更地に」と迫られた。これが協議移転か
《A》移転・取壊しは権利者との合意で進めている

山崎 陽一 議員（世論）



住居の間際まで迫る工事

区画整理撤回要求第43弾
質問 川崎一丁目の危ない工事。目的や緊急性、集団移転の理由は。
市長 道路拡幅と高低差のある造成地盤面の安全対策を講じた。換地先の造成で、水害防止のため下水道下流から計画。移転長期化が予想され、工期短縮・経費軽減のため、15棟を予定。
質問 家屋調査方法は。
市長 補償調査の1年半前に市と公社職員が訪問説明。移転1年前に家屋調査をし、補償額提示。合意の上で契約締結する。
質問 現価・再築補償率を示す、との答弁があったが。
市長 公表しないが、権利

者には必要に応じて示す。
質問 家屋調査拒否には、どう対応するか。30年2月までに更地に、と迫られた人もいる。これが協議移転か。
市長 双方の合意が基本。丁寧継続的に進める。
質問 移転時期、補償対象期間は。仮住まい1年半の根拠と、超えたら責任は。
市長 補償基準では、再築工法で5か月。工事中で従前地・仮換地の両方使用不可期間を加え1年半を提示。期間内完了に努める。
行政不服審査請求の市民利用を聞く
質問 行政不服審査請求、市民にとっての意味は。
市長 市民が行政処分に対し不服を申立てる制度。権利救済と、行政の適正運営を確保する。区画整理では建築許可、仮換地指定、換地処分が審査対象である。



《Q》教育相談件数の多さに見合った相談員等の配置を
《A》充実していくことが必要と考えている

浜中 順 議員（日本共産党）



墜落した米軍用機と同型機

学校教育の充実を
質問 教育相談件数の多さに見合った相談員等の配置を増強すべきと考えるが。
教育長 相談件数の増加および問題の複雑化に伴い、児童・生徒との相談や教員との情報交換の時間の充実が必要であると考えている。
質問 学校図書館司書が週5日、全日勤務ができるようにすべきと考えるが。
教育長 現在の週4日の勤務日数を変える考えはない。
質問 学習サポーターなどの支援の日数・時間を大幅に増やすべきと思うが。
教育長 今後も支援の役割を踏まえつつ、計画的に配置していきたい。

質問 中学校部活動の用具の費用などが高く家計を圧迫している。就学援助で支援すべきと考えるが。
教育長 部活動の参加・不参加、活動内容によって必要経費に相当の差が生じていたり、都内26市で交付していないので、現時点では就学援助費の支給対象とする考えはない。
危険な米軍基地の返還運動を広げよう
質問 横田基地に飛来した米軍用機が、相次いで墜落している。このような危険に対して、市長を先頭に、市民集会の開催、基地返還要請など、市民とともに運動を広げるべきでは。
市長 引き続き東京都、基地周辺市町と連携し、適時適切な対応を図っていく。



《Q》ドローン活用への取組みの調査研究を
《A》将来性、有効性について研究していく

橋本 弘山 議員（新政会）



ドローン（小型無人機）の活用を

質問 近隣自治体での取組状況は。
市長 あきる野市、奥多摩町、檜原村では国の特区制度を活用し、土砂災害計画区域等における災害時の住民の安否確認方法や復旧対策検証などの実証実験が実施されている。

質問 羽村市の魅力発信のためにドローンを積極的に活用してはどうか。
市長 現在活用計画はないが、市公式動画チャンネルでは空撮映像を配信し、市の魅力発信に努めている。

多摩川の氾濫に備えた水害対策を

質問 羽用水路の現在の状況と今後の修繕工事の予定は。
市長 多摩川の増水により、阿蘇神社上流の水路取入口で石垣や土砂の盛土が決壊しており、水路に水が入らない状態である。現在、羽用水組合と国交省京浜河川

事務所との両方で渇水期に復旧修繕ができるよう修繕の内容や時期等の協議を進めている。羽用水路は様々な特色と機能を有することから、市は羽用水組合が行う水路の復旧修繕の支援をしていく。



産業祭でのドローン体験事業の様子

質問 羽用水路の修繕と大正土手未整備箇所の整備を同時に行うことが一番効果的であると思われるが。
市長 未整備箇所は現在国交省が現地調査段階であり、まずは羽用水路の原状回復を先行して支援を行う。

■その他の質問「羽村市動物公園のPRの推進について」



《Q》給食費未納解消に向け児童手当を充てるべき
《A》給食費未納解消に効果的な手段である

瀧島 愛夫 議員（新政会）



学校給食費について

質問 ここ数年の学校給食費の未納額の学校別・総額の推移は。
教育長 小学校7校のうち、平成26年度の完納は3校、平成27年度の完納は3校、平成28年度の完納は5校である。中学校では、平成27年度の完納はなく、平成28年度・28年度の完納は1校であった。小・中学校全体の学校給食費未納額は、平成26年度に112万8千余円、平成27年度に43万7千余円、平成28年度に39万9千余円と減少傾向にある。

質問 平成24年施行の児童手当法の一部を改正する法律の施行により、児童手当を学校給食費に充てることが可能となった。羽村市では給食費の未納を減らす手段とする考えは。
教育長 改正された児童手当法の規定には「当受給者に係る児童に当該市町村に支払うべきものの支払いに充てる旨を申し出た場合に、当該受給資格者に児童手当等の支払いをする際に当該申し出に係る費用を徴収できる」としている。このことから、この申し出があった場合には、児童手当を学校給食費に充てることが可能となる。今後、事務処理方法などを調整し、実施に向けて取り組んでいく。



羽村・瑞穂地区市学校給食センター



《Q》今後のWi-Fi環境の整備計画は
《A》利便性を考慮しつつ、検討を進めていく

富松 崇 議員（新政会）



Free Wi-Fiのサービスを実施している近隣自治体のステッカー

公共施設へのWi-Fi環境の整備について
質問 平成28年3月議会以降の整備状況は。
市長 多摩ケーブルネットワーク株式会社と締結した協定により、今後のWi-Fi環境整備を進める上で有効な通信インフラが市内に整備されることになった。今後、市民の皆様の利便性を考慮しつつ、セキュリティを確保した安全安心なWi-Fi環境が提供できるように検討を進める中で、公共施設への設置に取り組んでいく考えである。
質問 生涯学習センターゆとろぎ全フロアで環境整備する考えはないか。

市長 ※Free Wi-Fiとした場合の運用ルールや、不正アクセスへのセキュリティ対策等、運用における適正管理を考慮しつつ、今後、検討していく。
質問 羽村駅・小作駅周辺で常時使用できる無線アクセスポイントが提供されるようだがどのようなものか。
市長 羽村・小作両駅周辺では、防災と観光の両面での活用を見据え、導入を進めていくこととした。両駅を利用する際の利便性が高まるよう取り組んでいく。
質問 駅周辺以外でも無線アクセスポイントが提供される予定はあるか。
市長 今後、様々な観点から市民ニーズの把握や費用対効果の検証を行い、さらなる充実に向けた検討を進める。

※Free Wi-Fi
：無線を使ってインターネットに接続するシステム（Wi-Fi）
を無料で利用できること



《Q》「学校給食費の無料化」を少子化対策として行おう
《A》羽村市の状況を見ると、行う必要はない

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



学校給食費を無料化しよう！
質問 市の少子化はどのように進行しているか。
市長 0歳から14歳までの年少人口は、10年間で8513人から7216人へと1297人減少している。
質問 少子化の克服のためには、子育ての経済的負担を軽減することが重要だと認識しているか。
市長 少子化の進行には、未婚化や晩婚化、長時間労働の常態化など、様々な要因が絡み合っているとわかっており、総合的な取り組みが必要である。
質問 「東京で子育てしやすいまち」を発信して、子育て世帯の増加を図っていくというシティプロモーションでは、どんな取り組みを行ってきたか。
市長 羽村の魅力を浸透させるために、「子育て情報誌への連載」、「市公式PRサイトの構築」などを行ってきた。

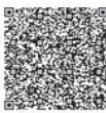


ある日の学校給食

質問 少子化の克服、シティプロモーションの成功には、学校給食費を無料にするなどの思い切った対策が必要ではないか。
教育長 過疎対策で給食費を無料化している自治体はあるが、羽村市の状況を見ると、行う必要はない。

国民健康保険は
どうなる（その2）

質問 国民健康保険税が値上げとならないよう、繰入金の実施についてどう考えているか。
市長 予算を編成する中で決定していく。



《Q》昭島市清掃センターの強靱性への判断は
《A》羽村市として意見や見解を述べる立場にない

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



昭島市清掃センター

昭島市の可燃ごみ受け入れは慎重に
質問 西多摩衛生組合の構成市町の担当課長による検討会議で、3項目の調査結果報告書はどのように検討されているか。
市長 昭島市の加入を検討する際の判断材料の一つの資料としており、特に「周辺住民の意見集約等」では、課題と捉えられるものもあり、解決方策の検討を行っている。
質問 昭島市の加入により、現在地にさらに長期固定化するのではないかと懸念が消えないが、見解は。
市長 平成50年度以降の廃棄物処理施設のあり方は、構成市町全体で検討していくものであり、昭島市の加入を理由として、長期固定化を懸念するものではないと考える。

投票率の向上を目指す
質問 10月22日執行の衆議院選挙の羽村市の投票率、期日前投票率はどうか。
選挙事務局長 羽村市の投票率は51.98%、期日前投票率は20.2%であった。
質問 働く世帯の増加・働き方の変化が進んでいる。通勤・通学途中での投票や子育て世代が投票しやすいように、羽村駅や小作駅周辺に期日前投票所を設置してはどうか。
選挙事務局長 セキュリティ上の問題や投票スペースの確保、投票従事者の増員など、管理上の課題が多く増設は難しい。



《Q》保育園・幼稚園と避難所協定はあるか
《A》協定はないが、協議していく

印南 修太 議員（新政会）



被災した益城町役場の議場

羽村市の震災対策について
質問 羽村市のライフラインを優先的に復旧する事業者はどのくらいあるか。
市長 羽村市指定上下水道工事店組合が15事業者、羽村市建設防災協力が19事業者、羽村市電気工事業者組合が5事業者、そのほか、水道施設のメンテナンス事業者や東京土建の加盟事業者などにも応急対応していただく。また、12月4日に西多摩電設工業協同組合と協定を締結した。このような体制を今後も強化し、災害予防や復旧対策に備えていく。

質問 羽村市と市内の私立幼稚園・保育園とは避難所協定などはあるか。
市長 協定は締結していませんが、避難所としての利用や物資の備蓄など応急対策業務が実施できるのか協議していきたい。

質問 避難者の健康管理と同様に、職員の健康チェックも重要だが想定しているか。
市長 東日本大震災や熊本地震など被災地域においては、避難所設置、物資搬送、安否確認などの膨大な業務に携わる職員にも多くの負担がかかることが報告されている。普段と異なる避難生活を送る避難者の健康管理とともに、職員の健康管理についても、ローテーションや応援協力、派遣要請等を行い、応急対策業務全体が適切に対応できるように取り組んでいく。

■その他の質問
「観光施策について」



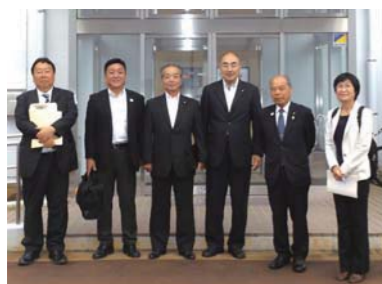
視察しました

常任委員会で先進的な事例を

私たち市議会議員は、特徴ある施策を行って優れた成果をあげている自治体や団体に学び、羽村市が抱えるさまざまな課題などについて理解を深め、今後の行政運営に反映させるため、行政視察を行っています。

今回は、平成29年に行った常任委員会の主な行政視察の概要を報告します。

厚生委員会



【厚生委員会委員】
(左から) 馳平耕三委員、富永訓正副委員長、瀧島愛夫委員、濱中俊男委員長、高田和登委員、門間淑子委員

経済委員会



【経済委員会委員】
(左から) 石居尚郎委員、富松崇委員長、鈴木拓也委員、(1人おいて) 大塚あかね副委員長、橋本弘山委員、山崎陽一委員

総務委員会



【総務委員会委員】
(左から) 浜中順副委員長、西川美佐保委員、小宮國暉委員、中嶋勝委員長、印南修太委員、水野義裕委員

研究テーマ

廃棄物対策と環境保全

視察概要

- 10月10日
- 新潟県長岡市：生ごみバイオガス化事業
- 10月11日
- 新潟県柏崎市：放射線測定による環境対策と安全衛生
- 新潟県柏崎市・刈羽村：原子力発電所に係る環境対策と安全衛生

研究テーマ

観光振興

視察概要

- 10月3日
- 北海道東川町：写真の町におけるまちおこし
- 10月4日
- 北海道旭川市：旭山動物園の魅力ある動物園への改革
- 10月5日
- 北海道札幌市：円山動物園の改革

研究テーマ

防災対策、公会計制度

視察概要

- 10月11日
- 熊本県益城町：熊本地震の概要と今後の災害対策
- 10月12日
- 熊本県熊本市：熊本地震の概要と今後の災害対策
- 10月13日
- 熊本県宇城市：公会計制度への取り組み

《Q》美術教育の重要性についての考えは

《A》美術活動を通して豊かな情操を培う教育

濱中 俊男 議員 (リフレッシュ羽村)



羽村第一中学校 選択美術で制作した作品「明日へ」

質問 羽村市の美術教育については、美術教育の現状は、**教育長** 小・中学校での図工・標や指導計画のもと、表現や鑑賞の活動を通して、美術の基礎的な能力を身につけるとともに、豊かな情操を養っている。

質問 小・中学校でのクラブ活動等の現状は、**教育長** 市内全ての小学校に図画工作と関連があるクラブがあり、中学校では、羽村第一中学校と羽村第二中学校に美術部がある。

質問 美術教育の重要性についてはどう考えているか。**教育長** 美術教育は、様々な活動を通して、造形的な見方や考え方を働かせ、豊

かな資質・能力を育てることができ、生涯にわたり豊かな情操を培う大切な教育であると考えている。

質問 生涯学習の視点から、公募展を開催すべきでは、**教育長** 市では文化祭において、市民が制作した芸術作品を展示する機会を設けている。現段階では、公募による作品展を実施する予定はないが、今後も市民による作品の制作活動を支援するなど、生涯学習の推進を図っていく。



QRコードをご活用ください

各議員の一般質問の記事の文末に、今回からQRコードを掲載していることにお気づきでしょうか。このコードを利用すれば、一般質問の動画がスマートフォンで見られます。

【手順】

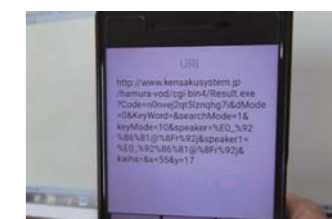
QRコードをスマートフォンで読み取って(写真①)、表示されたURLを選びます(写真②)。表が現れたら右側の「再生」ボタンをクリックすると、議員が一般質問している動画を見ることが出来ます(写真③)。平成29年度の動画からスマートフォンで見られるようになりましたので、どうぞお試しください。

(平成28年度以前の動画はパソコンで見ることができます)

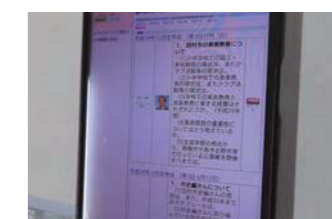
また、平成28年12月定例会から、市議会定例会の開催をお知らせするPR動画を市公式サイトで公開しています。テレビはむらの全面協力のもと、議員がアイデアを出し合って作成しています。こちらもご覧ください。



(写真①) QRコードを読み取るアプリを起動し、コードにかざします。



(写真②) アドレスが表示されるので、それを選びます。



(写真③) こんな画面が出たら、右の開始ボタンをクリックします。